



えこようび

エコギャラリー新宿 (新宿区立環境学習情報センター・区民ギャラリー)

開館時間：10:00～21:00 (区民ギャラリーは、10:00～18:00)
 休館日：毎月第4月曜日・年末年始(12/29～1/3) 第4月曜日が祝日の場合はその翌日
 住所：〒160-0023 新宿区西新宿2-11-4 新宿中央公園内
 TEL 03-3348-6277 FAX 03-3344-4434
 E-mail: info@shinjuku-ecocenter.jp
 WEB: http://www.shinjuku-ecocenter.jp



- 徒歩 新宿駅西口より約15分
- バス 新宿駅西口ターミナル17番乗り場
 ■宿32【佼成会聖堂普門館前】行き「十二社池の下」より徒歩1分
 ■宿33【永福町】行き「十二社池の下」より徒歩1分
 新宿駅西口地下広場シャトルバス乗り場
 ■CH01(循環)【都庁舎】行き「都庁第一本庁舎」より徒歩7分
- 地下鉄 大江戸線「都庁前」駅A5番出口より徒歩5分
 丸の内線「西新宿」駅2番出口より徒歩10分

エコギャラリー新宿
 まるごとエコ Book

えこようび



知りたい 学び
 やってみたい 興味

伝えたい 実践

VOL. 3

新宿区 p2-5
 エコリーダー
 養成講座

サイエンスカフェ
 しんじゅく p6-7



エコに関心を持ち、学んだことを実践し、伝え、ひろげていく仲間づくりを目的とした「新宿区エコリーダー養成講座」と、多様な視点で社会を見つめ直し、新たなエコ活動のつながりやきっかけをつくる「サイエンスカフェしんじゅく」をご紹介します。

新宿区エコリーダー養成講座



新宿区エコリーダー養成講座とは

環境都市「新宿」の実現に向けて地域の環境活動のリーダーとなる人材を養成するための講義と体験、ワークショップによる連続講座です。2004年から環境学習情報センターの事業として実施し、2018年度で20期を迎えました。暮らしや地域の環境課題に気づき、地球環境とのつながりを知り、自分達にできることを考え、実践をひろげることを目標にしています。例年、秋に開講し、10回程度の講座を実施しています。

2004年から2017年の間に297名が受講し、184名が修了しています。
(※ 修了規定8割以上の出席)



企画運営プロジェクトチームの結成

修了生の環境活動の継続と定着を目指して前年の修了生に企画段階からの参画を呼びかけ、以前の修了生が支援する形で数名の「企画運営プロジェクトチーム」を結成。講座の組み立て、プログラムについての検討を重ねます。

講座当日は、司会進行、受付、安全管理を担当制で行います。プロジェクトチームが確立した2007年から2018年の企画運営メンバーは91名を数えます。

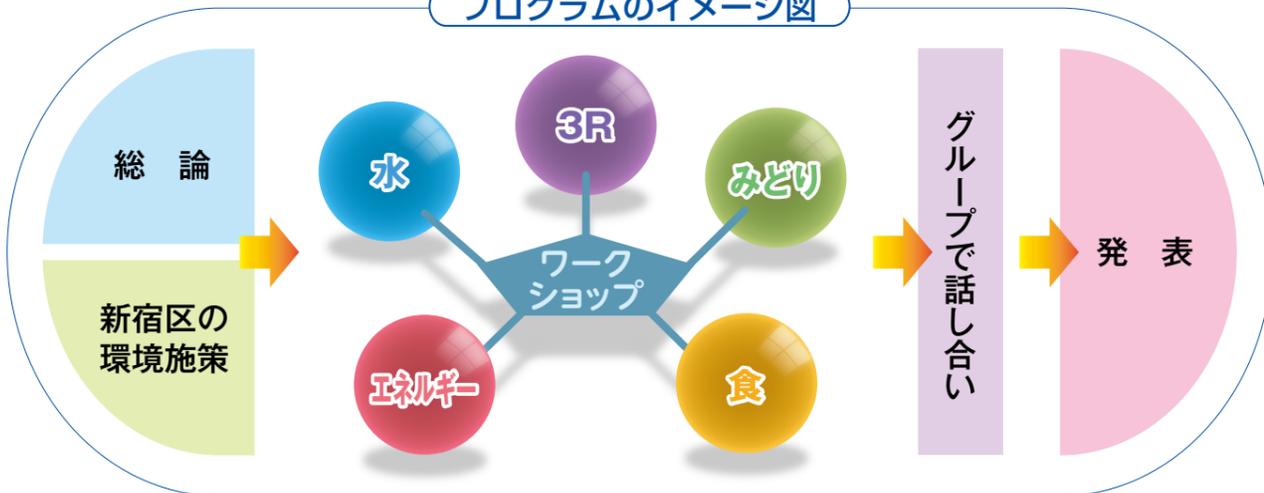


企画運営会議の様子

プログラムの特徴

環境問題を大きくとらえたうえで、足元から自分にできることを考え、行動に起こせるような構成にしています。総論、新宿区の環境施策を学んだ後、環境施設や企業を見学し、ワークショップ形式による講義で学びを深めます。最後に、グループで話し合った成果や提案を発表します。

プログラムのイメージ図



修了後の活動

新宿区エコライフ推進員となり、エコライフを実践しながら、区民と行政のつなぎ役として活動する修了生が多くいます。その他にも、エコギャラリー新宿の各事業サポーター、公園サポーター、地域の清掃・緑化リーダー、町会での活動、環境教育の講師、新宿エコポジの会など、地域のさまざまな現場で活躍しています。

プログラム紹介

まずは、見て、聞いて、感じる。見学と座学のバランスを考えながら、「新宿区で実施する環境講座」という点も意識して組み立てています。受講生から「目からウロコ」との声があり好評だったプログラムを中心に、いくつかご紹介します。

3R



(株)トベ商事見学

新宿区のごみの行方を知ることで、分別の大切さを実感します。

中央防波堤埋立処分場見学

ごみの埋め立てには限りがあること、ごみ減量の大切さを体感します。



みどり



大日本印刷(株)市谷の杜見学

新宿区の本社敷地内で、都市における「新しい森づくり」を進める企業の取り組みを学びます。

「みどりをまちづくりにつなげよう」

甲斐徹郎さん ((株)チームネット代表取締役) まちの中にみどりをひろげるコツについて、「個からはじめる」「楽しいとひろがる」という考えから学びます。



食



「食卓から見える環境問題」

近藤恵津子さん (NPO法人 コミュニティスクール・まちデザイン理事長)

フードマイレージ、バーチャルウォーター、食品ロス、安全安心な食等、食を取り巻く環境問題や、一人一人が賢い消費者になることの大切さを学びます。

エネルギー



「省エネ基本の“キ”」

山川文字子さん (エナジーコンシャス代表)

エネルギーの総論や家電の効率的な使い方、エネルギーを意識した暮らし方を学びます。

水



落合水再生センター見学

使った水がどのように再生されるのか、また再生水の活用についても学びます。

まちあるき



「新宿ってどんなまち? ~見て歩いて環境問題を考えよう~」



「四谷からまちづくりを考える」

話し合い・発表



学んだことをグループで話し合い、まとめます。



修了式のなかで発表します。

修了生に聞きました!

新しいメンバーを支え、盛り上げながら企画運営を進めてくださるベテランメンバーと、独自の分野で活躍する修了生の声を紹介します。

ベテラン企画運営メンバーへのQuestion

- 1 企画・運営時に大切に考えていること
- 2 企画メンバーでよかった、楽しかったと思った出来事
- 3 現在の活動
- 4 これから受講する方へのメッセージ



小山裕三さん
(新宿エコまちあるき 企画・ガイド)
2007年度修了生
企画運営メンバー2008年～

- 1 **企画・運営時に大切に考えていること**
企画では、まず、参加者に集まってもらえるだろうか、参加型の講座になるだろうか。講師選定では、お話だけで満足するのではなく、内容について考えさせる講師であるかどうか。そして理論だけでなく、ご自身が実践しているかどうか。運営では、参加型の講座にすること。とにかく聞くだけでなく、できるだけ五感に訴える講座にすること。「明日から何かやれそうだ」と思ってもらえるように。
- 2 **企画メンバーでよかった、楽しかったと思った出来事**
退職した年に「エコリーダー養成講座」の受講を勧められました。環境(エコ)に関して何も知らず、また、「いまさら……」とも思っていたのですが、受講しました。それから10年。その縁で、講座運営のお手伝いをしてきました。おかげで、知識はある程度習得しました。そして、なにより良かったのは、多くの人(講師、受講生、職員の方など)との出会いです。
- 3 **現在の活動**
エコの視点でまちをあるく「新宿エコまちあるき」の企画・ガイドをしています。このエコリーダー養成講座で出会った人達に支えられ、実現しました。
- 4 **これから受講する方へのメッセージ**
エコだけでなくいろいろなと学びました。学びは緊張と張りを感じます。「終わった人」でも、成長できることを実感しました。私は「エコリーダー養成講座」によって、第2の人生を育ててもらったのです。



鱒沢 毅さん
(新宿区エコライフ推進員・エコギャラリー新宿 創エネルギーチーム)
2008年度修了生
企画運営メンバー2009年～

- 1 **企画・運営時に大切に考えていること**
受講生の知識レベルは色々なので、講座では、基礎的・原理的なことに重点を置きます。これを基に、後は、自分で考え実行することが出来るような講座にすることを心掛けています。
- 2 **企画メンバーでよかった、楽しかったと思った出来事**
受講前・後で、環境に対する考え方のレベルアップが認識されたときは喜びを、そして「環境」を通じて友人が出来たときは、楽しさを感じます。
- 3 **現在の活動**
新宿区エコライフ推進員として「ごみの減量とリサイクル」を課題に区民対象の環境活動をしています。当然その前に、この講座で学習したことは自宅で実践しています。
- 4 **これから受講する方へのメッセージ**
日本は、生きるために必要な「エネルギー」や「食料」の自給率が極めて低いことを、講座を通じて「痛感」してください。これが出発点です。日本の生きる道は「知恵」です。



水田公子さん
(公園サポーター、地域清掃、町会理事ほか)
1999年度修了生、企画運営メンバー2007年以前～

- 1 **企画・運営時に大切に考えていること**
常に生活者の視点を忘れず、学びを通してエコライフの必要性、実践する大切さを伝えられるような魅力あるプログラム作りを心掛けています。
- 2 **企画メンバーでよかった、楽しかったと思った出来事**
世代や価値観の異なる人達と意見交換をしながら、地域や社会の環境問題、地域独自の文化、ルール、課題等を知り、新たな気付きや思考、知識をひろげ活動をはじめたこと。
- 3 **現在の活動**
公園サポーター、地域清掃、町会理事「環境担当」、出前授業サポート、緑化活動サポート 新宿「みどりのカーテン」プロジェクト、地区協議会委員、新宿区エコライフ推進員「1～7期(14年間)」他。
- 4 **これから受講する方へのメッセージ**
参加は最初の一步です。楽しく学び、体験、ワークショップを重ねながら「自分達が出来ること」を実践する仲間を見つけ、一緒に活動の環をひろげませんか?

コラム 1 新宿発! 江戸野菜project

2010年の修了生3名が立ち上げました。かつて、内藤新宿(現在の新宿区四谷・新宿御苑周辺)から大久保にかけて、畑を真っ赤に染めるほど作られていたといわれる「内藤とうがらし」。新宿区エコリーダー養成講座で、その存在を知った仲間たちが試行錯誤を繰り返しながら、栽培に挑戦するプロジェクトです。ブログでは、内藤とうがらしのほか、内藤かぼちゃ、成子うり、早稲田みょうが等の栽培の様子も紹介しています。



イベントなどで育て方と一緒にタネを配布しています
「とうがらしくんのブログ」▶ <https://ameblo.jp/shinjuku-food/>

コラム 2 新宿エコポジの会



新宿打ち水大作戦

修了生へのQuestion

- 1 印象に残っているプログラム
- 2 現在の活動
- 3 活動の今後の展開
- 4 これから受講する方へのメッセージ



福住達夫さん
(マンション管理士、(一社)東京都マンション管理士会新宿支部長、新宿区マンション管理問題協議会長)
2008年度修了生

- 1 **印象に残っているプログラム**
「牛乳パック6個でトイレトペーパー1巻がつくれる」ということ。これを聞いて以降の牛乳パックは必ずリサイクルセンターに持って行っています。また、東京港の埋立地や廃プラスチック、古紙のリサイクル工場を見学したことも良い経験でした。
- 2 **現在の活動**
私のエコ活動は「緑のカーテン栽培」です。今年でちょうど10年目になりますが、カーテンの外側と内側の温度測定や水遣りの効果的な方法の探索など毎年結構楽しく栽培しています。
- 3 **活動の今後の展開**
今後の課題は「節水型」の栽培方法です。
- 4 **これから受講する方へのメッセージ**
何か目標を見つけて、息長くエコ活動を続けられることをお奨めいたします。



住田安紀乃さん
(フリーライター)
2011年度修了生、企画運営メンバー2012年度

- 1 **印象に残っているプログラム**
近藤先生の食育講座です。添加物について、実験を行いながら学びました。毎日、口にしてるものがこうやって化学物質で作られていると知って衝撃を受け、食生活が変わりました。
- 2 **現在の活動**
主に電鉄系おでかけサイトのライターとして活動しています。子どもと一緒に出かけたり体験したことをウェブで公開、情報提供を行っています。
- 3 **活動の今後の展開**
今は、実際に体験した現実を書いているのですが、これからは子どもが話してくれる空想の世界を、絵本のようなお話にしてみたいと思っています。
- 4 **これから受講する方へのメッセージ**
「百聞は一見にしかず」。実際に体験したり、自ら足を運ぶ、貴重な機会がたくさんある講座です。自分の考え方を考えるかもしれない、そのチャンスをぜひ、生かしてください。

【新宿エコポジの会とは】

2012年4月に発足した修了生の会。「エコポジ」とは、「エコに積極的(ポジティブ)に取り組む」ことを意味する造語です。講座で学んだことを「地域活動や実践につなげること」「深めること」、そして「講座実施の支援」と「会員間の情報交換」を目標に活動しています。2018年現在、40名の会員がいます。



新宿年末クリーン大作戦
まちあるき・新宿山ノ手七福神巡り
君津製鉄所見学



下山田恵子さん
(エコギャラリー新宿 もったいないチーム)
2008年度修了生、企画運営メンバー2009、2013、2014年度

- 1 **印象に残っているプログラム**
「トベ商事」の見学は目からウロコでした。ビンや缶、プラスチックなどを再資源化する作業を見てその手間と大変さを知り、分別することの大切さを改めて感じました。
- 2 **現在の活動**
エコギャラリー新宿での衣類回収やリメイク講座、地域のイベントでのワークショップを通して3Rの取り組みや「もったいない」の気持ちを伝える活動をしています。
- 3 **活動の今後の展開**
3Rをもっと楽しくわかりやすく、身近なところから取り組めるような講座やワークショップを考えていきたいと思っています。
- 4 **これから受講する方へのメッセージ**
まずは知ることからはじまると思います。講座を通して得たものは、今でも日々の生活に生かされています。一緒に地球に優しい生活を実践していきましょう。



上田マリノさん
(環境ナビゲーター)
2008年度修了生

- 1 **印象に残っているプログラム**
東京23区ごみの最終処分場見学。
- 2 **現在の活動**
2008年よりエコアイドルとして活動をはじめ、アイドル卒業後は皆さまをエコの世界へご案内する「環境ナビゲーター」と名乗り、環境意識を0から0.1へと導く活動として、講演や専門誌での連載、エコ女子会などの企画をしてきました。
- 3 **活動の今後の展開**
2016年末の出産を機に活動をセーブしていますが、今後は同じように小さい子どもを持つママたちへ環境問題について知ってもらう機会を作りたいと思っています。
- 4 **これから受講する方へのメッセージ**
環境問題について学べるだけではなく、物事を判断する際の視野がひろがる講座だと思います。講座を受けることで、これからの日本や世界にとって大事な「持続可能性」について自然と自分の考えに入れられるようになるかと思っています。

【2017年度の活動(抜粋)】

- 5月 「水素情報館東京スインミル」と「えこっくる江東」の見学
- 6月 新宿エコライフまつり 参加 王子マテリア 江戸川工場の見学
- 7月 フリートークの会
- 8月 神田川・環状7号線地下調整池の見学と近くの神田川沿い散策
- 10月 まちあるき「漱石山房記念館」開館記念
- 11月 新宿区エコリーダー養成講座 第6回「市谷の杜」を訪ねて
- 12月 エコリーダー養成講座最終回の提案発表会傍聴、修了式後の懇話会に参加
- 1月 新年交流会
- 2月 まちあるき「自性院と中井御霊神社～猫地蔵のご開帳と七福神豆まきを観る～」
- 3月 地域活動の見学「井の頭池のかい堀り」の活動を観て聞く

【鶴田会長より】

講座修了生の同窓会的意味合いで結成され、「環境問題についての学習を継続していく」というスタンスで、施設見学などを中心に活動してきました。結成7年目を迎えた今後は、各会員が地道に取り組む活動を一堂に集め、「ポジティブ」で大きな渦を区内に展開していきたいです。

サイエンスカフェしんじゅく

「サイエンスカフェしんじゅく」は、“カフェのような気軽な雰囲気の中で、環境や科学について理解を深めたり語り合ったりする対話型ワークショップ”です。2015年5月にスタートし、15回のワークショップで、延べ419名の参加者をお迎えしてきました。エコギャラリー新宿では、普段は少し身構えてしまいがちな環境や科学などの社会的なテーマについて、参加のハードルを下げ、科学者や専門家の方々と気軽に語らう場づくりをお手伝いしていきたいと考え、企画・実施しています。



これまでのワークショップ例

第6回 分身ロボット「OriHime」が活躍する未来社会 ～ロボット・コミュニケーターと描く、21世紀の環境～

・日 時：2016年5月21日(土) 15:00～17:00
・ゲスト：吉藤健太郎さん(ロボット・コミュニケーター)

人工知能(AI)に注目が集まるこの時代に、あえて“人の力で操作する”ロボットにこだわり、分身ロボット「OriHime」を開発されている吉藤さん。創作の原点となったこれまでの人生を振り返りながら、分身ロボットが活躍する21世紀の社会や環境について、集まったみなさんと大いに語り合いました。



第10回 小さく始めて大きく変える、 これからの「まちづくり」

・日 時：2017年3月4日(土) 15:00～17:00
・ゲスト：瀬川翠さん(建築家)

これからの建築家の役割を“何を建てるのかよりも、誰がどう暮らすのかを設計すること”と自任し、シェアハウス「武蔵境アンモナイト」の運営など、まちと生きていくための画策を続けている瀬川さん。これまでのご経験を踏まえて、各地域で役立つ“まちづくりのヒント”を教えてくださいました。



第11回 私と社会をつなげる、 エシカルファッションの可能性

・日 時：2017年6月10日(土) 15:00～17:00
・ゲスト：鎌田安里紗さん(モデル)

高校在学中にギャル雑誌「Ranzuki」でデビューし、現役モデルでありながら、大学院で研究を進める鎌田さん。倫理的・道徳的なファッションを意味する「エシカルファッション」について、“ギャル×エシカル”に至るまでの生き方を伺った上で、理想の「エシカル消費」のあり方を考えました。



第12回 都市型ワイナリーの挑戦 ～「日本ワイン」の魅力とこれからの可能性～

・日 時：2017年7月9日(日) 15:00～17:00
・ゲスト：上野浩輔さん(「深川ワイナリー」ワイン醸造家)

下町のド真ん中で、バルを併設するユニークな都市型ワイナリー「深川ワイナリー」の醸造家である上野さん。ワインの製造工程やこだわりなどについてアツク語っていただきました。「その街でつくったワインを、その地域の人が飲む」—そんな持続可能でおいしい未来の可能性を考えました。



数字で見る「サイエンスカフェしんじゅく」

参加者アンケートから、参加者の2人に1人がエコギャラリー新宿への初来館者であること、約3人に1人が日頃は環境問題や科学にあまり関心の高くない方であることがわかりました。このワークショップが、多くの方にエコギャラリー新宿へ足を運んでいただくきっかけとなり、新しい学びや出会いのチャンスになっていることを嬉しく思います。



関係者Voice

ゲストの声



第13回ゲスト出演
(リーマンサット・プロジェクト広報部 鬼頭さん)

リーマンサット・プロジェクトは、「趣味としての宇宙開発」に挑戦している団体です。普段は、技術関係者や宇宙関連など、専門家を対象としたイベントに参加することが多く、「サイエンスカフェしんじゅく」のような一般の方に向けた対話型ワークショップへの参加は初めてでした。「サイエンスカフェしんじゅく」は、各回のゲストによる多様な視点がユニークで、企画も洗練されており、ゲストとして参加した当団体としても参加者との対話により、楽しみながら持続可能な社会へ向けた新しい視点や今後の活動へとつながるヒントをいただくことができました。

これからも参加者が環境や科学について理解を深め、語り合う、素敵な場づくりを続けてください!

参加者の声

- ・初めての発想に触れられて楽しかった (10代男性)
- ・国際的な課題を考えるきっかけになった (20代男性)
- ・ゲストの人柄がよくわかるイベントだった (30代女性)
- ・休日にゆるく楽しい学びができ、充実した午後になった (50代女性)
- ・幅広い年代、経験を持っている方と、楽しいワークができた (50代女性)

環境配慮の工夫

ゲストや参加者のみなさんが気軽に語らえるよう、会場では、コーヒーやお茶菓子などをご用意しています。生産地の環境保全や生産者の経済支援につながるフェアトレード認証コーヒーを、できるだけ紙カップを使わずマグカップで提供するように工夫しています。(ご協力：スターバックスコーヒー 新宿グリーンタワービル店)



Facebook ページのご紹介

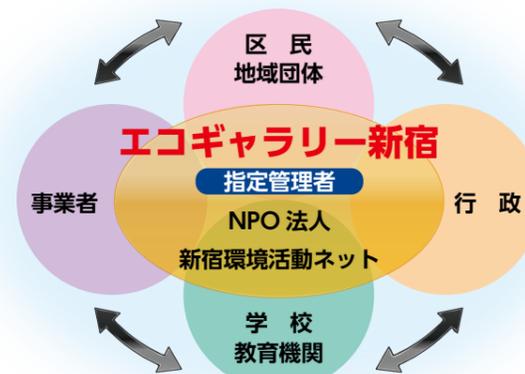
「サイエンスカフェしんじゅく」では、公式Facebookページを開設しています。最新のワークショップ情報や過去の報告などを配信しています。ぜひご覧ください!



エコギャラリー新宿とは

都会の森「新宿中央公園」にある「エコギャラリー新宿」は、1階に文化活動の発表の場「区民ギャラリー」、2階に環境情報・活動の拠点「環境学習情報センター」を併せた新宿区の複合施設です。気候変動対策、資源の効率的な活用、自然共生などの環境課題はもちろん、環境・経済・社会・文化を統合した「文化の香り高い持続可能な都市 新宿」の実現に向け、区民・NPO・事業者・行政・教育機関をつなぐ交流拠点として、企画・運営の段階からマルチセクターの参画も得ながら運営しています。

※2004年4月より、公募による選定を経て、NPO法人新宿環境活動ネットが指定管理者として管理運営しています。



エコギャラリー新宿

イメージキャラクター エコ王子

名前：エコ王子
出身：エコギャラリー新宿
特技：空を飛ぶこと
エコ上手 (日々勉強中)
マイブーム：エコバック
木のペンダントづくり

